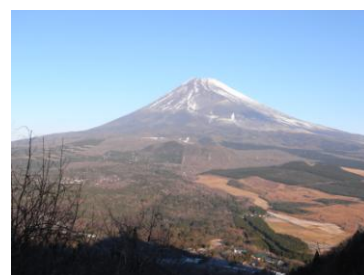


コース40 愛鷹山と柿田川湧水群

リーダー CL K/T SL M/T
 実施日 平成19年12月8～9日 天候 快晴
 参加者 17 (男性 4 女性13)
 グレード B上C



コースポイント

ポイント	到着時刻	出発時刻	備考
8日 二番館		5:00	鶴ヶ島～八王子間、圏央道開通している。
柿田川湧水群	10:50	12:40	周田の木橋、3年越の修理中。通行不能
源兵衛川遊歩道	12:55	13:45	川中の遊歩道、更に整備されていた。
十里木館(泊)	15:40		十里高原まで車で行くが、富士は見えず
9日 十里木館		6:25	旧式お暖房に、ツツルテンの浴衣でイマイチの宿
山神社前P	6:35	6:40	出発間もなく、山荘にの泊まったパーティに会う
黒岳山頂	8:45	9:00	裾野から全部見せる富士の偉容に大感激
富士見台	9:30	9:45	もう5分早く上っていれば雲のない山頂だった
越前岳山頂	10:10	10:30	富士も、雪のない山頂だった
十里木高原P	12:45		途中の展望台で、富士の勇姿を見ながら昼食
本町二番館	19:05		予定より、約1時間半早く帰着した

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 一日目は、2つのポイントを巡るハイキング、2日目は登山という組合せで、二日間とも、またとない好天に恵まれた。
- ・ 初日、柿田川は沼津市、源兵衛川は三島市にあるが近接していて、どちらも富士山の伏流水が湧水となって流れる川、街中にありながら、その清澄さは、つい引き込まれてしむほどだった。

- ・ 二日目は、愛鷹山山群の最高峰200名山の越前岳（1,504m）へ、東側、山神社から、北側、十里木高原へ縦走した。前日以上の快晴で途中往復した黒岳山頂から正に“足先からてっぺんまで”の富士の全容に対することができた。ただし、雪はまだ、まだらにしか付いていなかった。
- ・ 更に途中、鋸岳の岩峰や、新潟県出身の写真家、岡田紅陽ゆかりの富士見台からの眺望を楽しみながら、10時過ぎ、山頂を踏んだ。大勢の人達で混み合う山頂に心を残しつつ、下りは、同じく無雪の土が、一転カチカチに凍りついていて、何人かの者が転び、一気に（富士）展望台まで降りた。
- ・ そこで、雄大な富士を目の当たりにしながら、ゆっくりと昼食を摂り、良き2日間のしめくくりをした。



越前岳山頂

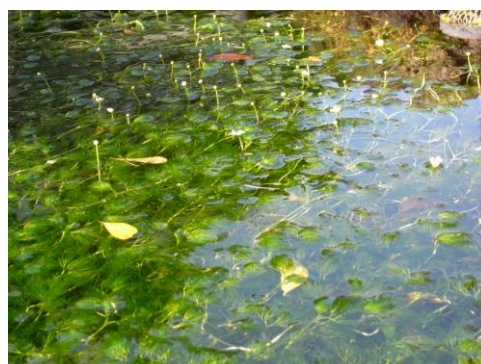
「愛鷹山と柿田川湧水群」

(237) R/H

1日目（12月8日）

今年最後の登山です。早朝5時10分に出発。小雨でしたが関越トンネルを抜けると真っ青な青空です。皆で歓声をあげました。

静岡県に入り、清水町柿田川公園に午前11時過ぎに着。湧水2ヶ所を案内人に説明してもらいながら展望台から眺望しました。深い水底からこんこんと湧き出し、湧き出る水が1日100万トンにもなるそうです。青く透明な池底は神秘的な感じがして自然の不思議な力を実感しました。



柿田川湧水池のアミシマバイカモ

広場で昼食。三島市の市内を流れる源兵衛川の川沿いの遊歩道を1時間ほど散策。
その後三島大社を参詣。国宝にもなっている立派な社殿が私たちを迎えてくれました。菊の御紋のある本殿に進み、それぞれに参拝しました。広い境内には大勢の人々で賑わっていました。
静岡県裾野市の十里木館で宿泊。

2日目 (12月9日)

愛鷹山(最高峰の越前岳: 1,504m) 登山

宿を午前6時20分に出発。朝はちょっと雲のある空模様でしたが、素晴らしい富士山が見られることを期待しながら登山口に着きました。少し肌寒い気候ですが、歩くのには丁度良い気温かな?という感じでした。小さな山神社があり、無事を祈って手を合わせました。



杉林の中を歩き始めると、朝日が木々の間から差し込み始め、山肌を赤く染めてきました。雑木林に出てなお歩き続け、程なく身体も暖まる頃、愛鷹山荘に着きました。ここで一休み。山荘は“ほんの泊まるだけ”という質素な小屋でした。山荘からやや急な道を7分ほど歩き富士見峠に着きました。

左が越前岳、右に行けば黒岳、私たちは黒岳に行くことにし、右に進みます。杉林の中の急な道を登ること25分で山頂到着。快晴、雲ひとつない空で、目の前には富士山が聳え立っていました。その威容に皆、歓声を上げました。

山頂から麓まで長く美しい裾野がひろがり、本当に美しい姿です。何枚も写真を撮り、飽きることなく眺めました。本当に「富士は日本一のお山」だと実感しました。

十分、その姿を目に焼き付け、再び富士見峠まで戻り、越前峠を目指します。皆さん疲れた様子もなく、元気です。杉林を抜け、ゆるやかな上り道。登山道は乾いている上、落ち葉があって歩きやすかった。鋸山を見渡せる所まで歩を進めると南側の少し開けた場所から「鋸岳・位牌山」などの稜線がよく見えました。鋸岳は、名前の通りの山頂のギザギザがはっきりと分かりました。

気温が低いせいもあって、汗も出ず、心地よい歩きです。40分ほどのきつい登りをがんばり、富士見台に着く。ここからも素晴らしい富士山が見られますが、山頂に少し雲がかかっていた。それもまた「風情の濃い富士だな!」と見とれてしまいました。

15分くらいの小憩の後、最後の登りです。樹林の中を登りつめると越前岳の山頂です。正面に駿河湾、右手奥には富士山が見えるという眺望観満点の山頂なのですが、駿河湾は残念ながらかすんで見えませんでした。が、皆さん満足感十分という顔色でした。

さて、ここからは十里木高原への下山になります。実はここからが結構大変な道で、登山道が凍結して滑り易く、急な道でしたので転ばない様、一歩一歩慎重な下りでした。何人かは転んだ人もいた様でしたが、一時間の下りを無事に通過し、広場での昼食。

目の前に広がる雄大な景色を見ながらゆっくりと食事をとりました。その後の下りは30分ほどです。樹林を抜け、階段を下るとバスが待つ駐車場です。皆さんケガもなく、無事に下山。リーダーのK/Tさんに感謝、感謝と握手。帰途のバスも順調で、予定より早く19:00に区役所前に無事帰着。

なにせ2日間とも快晴!というのが「山登り」には最高のシアワセ。また、素晴らしい富士山の姿を拝めて、私のアルバムにもさらに「花」を添えることが出来ます。どうも有難うございました。